



■没後145年(146回忌)の小栗まつりが小栗上野介顕彰会の主催で開かれました。

5月26日(日) 好天



▲「小栗のまなざし—小栗上野介公に捧ぐ—」を演奏する倉渕中学校音楽部

福田洋介作曲「小栗のまなざし—小栗上野介公に捧ぐ—」が完成して東善寺へ届いたのが4月下旬、それ以来中学生は毎日熱心に練習を重ねました。5月7日に福田洋介氏と仲介してくれた指揮者松元宏康氏が中学校を訪ね、生徒たちに直接指導をしてくださいました。(裏面参照)

まつり当日はやや緊張した面持ちでしたが、熊井和子先生の指揮による落ちついた演奏で、小栗上野介の生涯を思わせる変化と繊細な感覚に富んだ素晴らしい曲を披露してくれました。この曲が倉渕中学校の持ち曲となって、生徒の自信と誇りにつながることを期待しています。



記念講演 **近代日本は横須賀造船所から**

横須賀開国史研究会長 山本 詔一 氏

□小栗上野介が遣米使節の見聞を生かして提案し続け、5年後の慶応元年に建設にこぎつけた横須賀造船所は日本近代化を進めるための総合工場であって、ここからメトル法も日曜休日制度も、決まった時間に出勤して働く、複式簿記、勤労者の健康診断……みんな日本の近代は横須賀造船所からスタートしている。日本の近代工業の基礎となったのが横須賀造船所——という話をユーモアたっぷり交え、たのしく語りました。

■講演の概要は秋に発行する小栗上野介顕彰会「たつなみ」38号に掲載の予定です。



昼市は交流の場——

◇今年もたくさんのお店が出店して、小栗まつりを賑やかなものにしてくださいました。毎年参加しておなじみの人も多く、「土地の人と話ができて楽しい」「小栗上野介や幕末の歴史が語れ、いろいろな情報が入るのが嬉しい」という声が聞かれました。

ボランティアに感謝

◇小栗まつりはたくさんのボランティアによって支えられています。前々日(金曜日)のテント借り出し、土曜日のテント張り、テーブル・イスのセット、看板、紅白幕つけ、掃除、当日の駐車場整理、終了後のテント類撤収、収納、清掃と裏方の仕事をしてくれる人たちの心意気が、まつりの雰囲気をお暖かいものにしていきます。

情報あれこれ

吹奏楽

「小栗のまなざし」

作曲者

福田洋介氏が倉渚中学校で指導



◇5月7日（火）、小栗上野介をテーマとした新曲「小栗のまなざし—小栗上野介公に捧ぐ—」を作曲した作曲家福田洋介氏が指揮者松元宏康氏とともに倉渚中学校を訪れ、吹奏楽部生徒が練習中の新曲の演奏を直接指導しました。楽譜を受け取って2週間という短期間に練習を重ねた生徒が、指導の言葉に的確に反応してどんどん音色が変わってゆく様子は、すばらしいものでした。

◇指揮者の松元氏も持参したクラリネットに練習に参加、共演しながらアドバイスをし、時には福田氏に曲の微妙な変更も求めて、「倉渚中学校の生徒に合わせた曲になった！世界で一曲しかない！」と生徒を励ましていました。

◇この曲はいずれマンドリン曲にも編曲する予定で、群馬マンドリン楽団の主宰両角文則氏も練習に立ち会いました。

横須賀市の

ヴェルニー・小栗祭は11月16日（土）

□横須賀造船所の鍬入れ式（11月15日）を期して、その前後に行われている横須賀市主催「ヴェルニー・小栗祭」は11月16日（土）に横須賀市芸術劇場のベイサイドポケット（京急汐入駅1分・JR横須賀駅8分）で行われます。どなたも参加できる式典で、来賓の仏大使、米軍・海上自衛隊関係者・小栗上野介顕彰会役員などの他、小栗上野介や幕末の歴史ファンが集う場となっています。

本

岩井 哲著

『幕末奥羽の閃火』

発行：書肆 犀（しよし・さい）
1400円+税

◇幕末の上山藩や庄内藩の動静と小栗上野介の近代化の業績にスポットを当てた形で、勝者によって作られた明治以後の歴史観に鋭く切り込む。

◇遣米使節に随行した館林藩士岡谷荘三郎についても記述。



『歴史街道』



6月号で
「群馬・
倉渚」を
特集

◇PHP発行の月刊誌「歴史街道」6月号の「日本ふるさと紀行」第5回では「群馬・倉渚」を最終6ページで特集し、紹介。

◇画像をたくさん使った構成で、道祖神や倉渚の里の風景、人、牧野酒造などが紹介され、さらに小栗上野介についても詳しい説明を加えています。

予告

『小栗上野介正伝』復刊のお知らせ

◇阿部道山著『小栗上野介正伝』がマツノ書店から復刊されます。戦前昭和16年に発刊されたもので、近年は古書で3~4万円していて入手が困難な本です。予約による印刷部数決定で刊行となり、予約特価10000円、限定300部・番号入り復刊、とのこと。

予約は直接マツノ書店へどうぞ。0834-21-2195

◇パンフレットご希望の方は東善寺へお申し込み下さい。本文解説とパンフの推薦文を住職・村上泰賢が書きました。

会員になって下さい——— 東善寺 たつなみ会



倉渚町の小栗上野介顕彰会では機関誌『たつなみ』を発行(年1回)しています。東善寺の「たつなみ会」会員になっていただければ、「小栗上野介情報」や「東善寺だより」など、東善寺発行の小栗上野介・幕末関連の最新情報とともに、『たつなみ』誌を発行のつどお送りし、機関誌代が顕彰会の活動資金となっています。倉渚地区の人口減で顕彰会員が減っていますので、「たつなみ会」会員の増加を期待します。 □会費 年1300円

□お申し込みは：東善寺へメールまたは電話、ハガキで □ご送金は郵便振替「東京00120-1-406206東善寺」へ